

富岡市長賞 銅賞

税について

富岡中学校 3年 豊 花南美

今まで私は、税金が必要である意味や理由が理解できませんでした。しかし、私が中学二年生の時に職場体験学習で体験・学んだことで、税金がどれだけ大切で、今の自分たちに必要なものなのかを知りました。

私が職場体験学習で行ったのは市役所でした。二日間行った中で一日、市が管理している公園の点検をしに回りました。いくつか行った中で、私が遊んだことのある公園もありました。そして、どこの公園にも共通した問題があり、それが資金不足でした。破損した遊具を修理するにも、新しい遊具を買うにも、改めて土地の整備をするにもお金が必要で、その中には税金が使われています。特に新しい遊具を買うにはたくさんのお金が必要だそうです。何をするのにもお金が必要になるので大変だ、と市役所の方の話を聞いてびっくりしました。まさか、自分たちが小さなころから何とも思わずに遊んでいたものが、と思いました。同時に、たくさん大人の、もちろん私の両親も納めているものが税金なのだから、どれだけの人たちのお世話になったのか気づくことができました。公園の遊具だけではありません。学校に行くことができるのも、学校で生活することができるのも、その税金のおかげなのです。

こうして、一つの体験で私はとても大切なことに気づき、知ることができたと思います。今まで、自分の過去で税金と関わったことが全く無いと思っていたことが一転しました。大袈裟でも何でもなく、私は自分たちが税金のおかげで今の生活ができるものだと思います。本当に、少し大袈裟かもしれませんが、たくさん大人の・親が支えて私たちが成長できたことは間違いありません。私たちが大人になり、働いて、税金を納める義務を負われるようになると、次は私たちがその立場になり、子供たちの為に生活環境をつくっていきます。最近では、税金の使われ方について、問題もでてきていますが、未来に必要な大事なことで、とても良いことだと思います。国民が負担して納めるかわりに、使う側の人たちにはよく考えてもらいたいですね。国のこれからの為に。